

情報交換できたことに大きな意義があった。最後の自由討論では、本分野が国際的に重要視されつつあり、このワークショップに参加している研究グループが日本におけるそのプロジェクトの中核的役割を果たすことが期待されていることが、国立環境研究所の横内 陽子先生から紹介された。最後に、それに向けて連携を深めること、2年後を目処に再度同じワークショップを測定フィールドの見学も兼ねて開催することなどを合意した。

#### 講演内容(セッション名のみ記載)

(1日目)

主催者挨拶, 研究所長挨拶

基調講演:1課題(横内陽子, 国立環境研究所)

放出特性Ⅰ:テルペン類:3課題

放出特性Ⅱ:ハロカーボン, その他(メタンを除く):5課題

環境ストレスと放出:4課題

懇親会(静岡県立大学食堂)

(2日目)

国際会議案内:1課題

放出特性Ⅲ:メタン:4課題

BVOCの周辺研究:3課題

自由討論

### 3-10. 企業技術交流会

担当: 坂田昌弘, 藁科 力, 岩村 武, 寺崎正紀, 光延 聖, 新田見知愛

12月10日(水)に静岡県立大学小講堂を会場にして、静岡化学工学懇話会の主催による第17回企業技術交流会が開催された。今回は当研究所が共催し、企画を担当した。テーマは、静岡県の中部地区を中心に本社や工場・研究所を有する企業の方々から、環境に関わる最新技術を紹介していただくとの趣旨から、「環境の世紀を支える最新技術」とした。本交流会への参加者は合計87名であり、そのうち本学および県内の大学から33名の学生が参加した。

本交流会では、最初に企業6社の講演があり、それに引き続いて大講堂ホワイエにおいてポスター掲示と製品展示が行われた。各企業の講演題目は以下の通りである。

- ① サッポロビール(株): サッポロビールのLCAに関する取り組み
- ② いであ(株): DNA解析を応用した最新の環境調査技術
- ③ (株)キャタラー: 排ガス浄化触媒と環境
- ④ (株)巴川製紙所: 粘土を主成分とする柔軟性耐熱フィルムの開発
- ⑤ 日本軽金属(株): 地球環境にやさしい素材 アルミニウム
- ⑥ ポリプラスチックス(株): 環境を考慮したエンジニアリングプラスチック材料

そして最後に、「水道水の安全確保に関する最新の動向」と題して、本学環境科学研究所教授の国包章一先生による特別講演が行われた。

講演は、環境調査や環境保全に関する新規技術を中心に盛り沢山の内容であったが、世界最先端の技術や有数な世界シェアを誇る製品が、この静岡県から産み出されていることが次々に紹介された。いずれもすごいなと感心することばかりで、学生に対しても強くアピールする講演であった。